



▲石越町内で最も交通量が多い交差点で実施された4時ライト運動

## 石越で4時ライト運動 早めのライト点灯を心掛けて

4時ライト運動（佐沼地区交通安全協会石越支部主催）が11月28日と12月5、12日の3日間、石越地区内の県道芦倉交差点で実施されました。夕暮れ時は辺りが薄暗くなるため、運転中のドライバーは自動車や歩行者、自転車が見えにくくなり、一日の中で交通事故が最も多く発生する時間帯となっています。3日間行われた運動には、同支部、同シルバードライバークラブから約60人が参加。気温が低くなる時間帯でしたが、県道を通行する自動車のドライバーに早めのライト点灯を呼び掛けました。

## 米山と南方の小中学生が入善町を訪問 マラソンで友好を深め合う

友好姉妹都市の関係にある富山県入善町へ、11月17日から19日までの3日間、市の姉妹都市交流団21人が訪問しました。交流団は「第15回扇状地マラソンINにゅうぜん」に参加。中学生3人が5<sup>キロ</sup>、小学生11人が3<sup>キロ</sup>の部に出場し、小学生女子の部で鮎澤みずきさん（中津山小6年）が第7位に入賞するなど、全員が完走しました。最終日は入善町立飯野小を訪問。「入善町と登米市のつながり」などの発表会や、ふれあいゲーム「扇状地マラソンじゃんけん」をしながら、互いに交流と友好を深めました。



▲冷たい雨が降りしきる中、参加者全員が完走したマラソン大会

## 東和で子どもの人権を考える講演会 子育ても意味を考えながら

子どもの人権を考える講演会が12月5日、東和地域福祉センターで開催され、現在子育て中の母親ら20人が参加しました。「親のところに必要なもの」と題して、仙台ロゴセラピー研究所長の吉田香里さんが講演。吉田さんは「どんな人生や状況にも意味があり、人は意味を求めて行動します。例えば失敗してもそこに至るまで全力を尽くした過程を恥じないでほしい」と話しました。また、親子での参加者も多かったため、吉田さんの計らいで講演会は子どもをひざに乗せてのアットホームな雰囲気で行われました。



▲失敗しても意味があるので過程を恥じないでほしいと話す吉田さん

## 南方でスポーツクラブ設立総会 誰もが参加できるスタイルで

「いきいき健康づくりスポーツクラブみなみかた」の設立総会が12月16日、南方公民館で行われ、関係者約150人が集まりました。クラブを設立するための準備委員会を昨年4月に結成。これまで、委員20人が各スポーツ・文化団体などと協議を進めてきました。クラブは住民の自主企画・運営によるスポーツ活動を通して、地域における生涯スポーツを振興。子どもから大人まで、気軽に参加できる新たなスタイルで運営されます。総会後はニュースポーツ体験会が行われ、軽エアロビクスなどで汗を流しました。



▲設立総会後に行われた軽エアロビクスで心地よい汗を流す参加者



▲ゴスペルに挑戦する中田町内の幼稚園児や小学生

## 中田で「ゴスペルでクリスマス」 素敵な朗読と音楽の贈り物

ブックワールド事業「ゴスペルでクリスマス」が12月2日、石ノ森章太郎ふるさと記念館で開催されました。この事業は、読み聞かせや朗読を通して多くの人に本の楽しさを知ってもらおうと開催され、今年で5回目となります。約35,000個の電球を使った「光のページェント」のイルミネーションが灯る幻想的な雰囲気の中、「おはなしサークルどんぶり」による朗読やゴスペルグループ「JOYCE」のコンサートなどが披露されました。来場者は「一足早いクリスマスプレゼントをもらいました」と話していました。

## 迫に移動交番が開所 安全安心なまちへ警備を強化

佐沼警察署移動交番「大通りにぎわい安全ステーション」が12月14日、迫にぎわいセンター内に開設され、開所式が行われました。移動交番は、各種相談業務や落とし物の届け出などの受理、パトロールなどの拠点となり、毎日午後2時から4時まで佐沼署の警察官が常駐します。また、佐沼署管内の防犯指導隊による特別警戒出動式も併せて行われ、パトカーや白バイ、防犯指導隊が出動しました。年末年始には、犯罪や交通事故などが多く発生するため、1月7日まで特別警戒を実施することとしています。



▲佐沼警察署移動交番が設置され警察官が常駐することになりました